

エコアクション21 環境活動レポート

平成 21 年度版



作成日 平成 22 年 07 月 31 日
弊社事業年度 平成 21 年 06 月 01 日～平成 22 年 05 月 31 日



兵庫県伊丹市緑ヶ丘 1 丁目 324 番地

庄野電気工事株式会社

TEL 072-782-1375

FAX 072-770-4409

URL <http://www.shonodenki.com>

E-MAIL info@shonodenki.com

目 次

1. もくじ	1
2. 組織の概要	2
3. 環境方針	3
4. 環境目標	4
5. 環境活動計画	5
6. 環境目標の実績	6
7. 環境活動計画の取組結果とその評価 次年度の取組内容	7
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、起訴等の有無	8
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	9

制 定 : 平成 21 年 12 月 01 日

改訂(第 版): 平成 年 月 日

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

庄野電気工事株式会社

代表取締役社長 庄野 隆二



(2) 所在地

〒664-0012 兵庫県伊丹市緑ヶ丘1丁目324番地 【 関連事業所なし 】

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 庄野 隆二

環境管理担当者 庄野 晴美

T E L : 072-782-1375

(4) 事業内容

電気設備工事・電気通信設備工事・消防設備工事・環境保全設備工事

(5) 事業の規模

活動規模	単位	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
売上高	百万円	4 5 2	4 9 2	4 3 4	6 0 2
従業員	人	1 2	1 2	1 3	1 3
床面積	m ²	3 5 1 . 4 2	3 5 1 . 4 2	3 5 1 . 4 2	3 5 1 . 4 2

制定日：平成 21 年 12 月 01 日

2. 環 境 方 針

〔基本理念〕

当社は「信用を重んじる」をモットーに、お客様第一の電気設備工事を創造する会社として、常に環境への配慮を考えた事業、活動を展開する。次世代に残るより良い地球環境の創造を目指します。

〔行動指針〕

1、環境経営システムを構築し次の事項を重点的なテーマとして取り組みます。

- ① 省エネ（電気）省資源（化石燃料）推進によるCO₂削減への取組
- ② 廃棄物分別の徹底と及び再生利用の向上
施工方法改善による発生量・排出量の削減
- ③ 用水使用量の削減

2、環境保全に関わる法令・規則・条例等を遵守します。

3、環境活動レポートを作成し、環境取組の状況を公表します。

庄野電気工事株式会社

代表取締役 庄野隆二

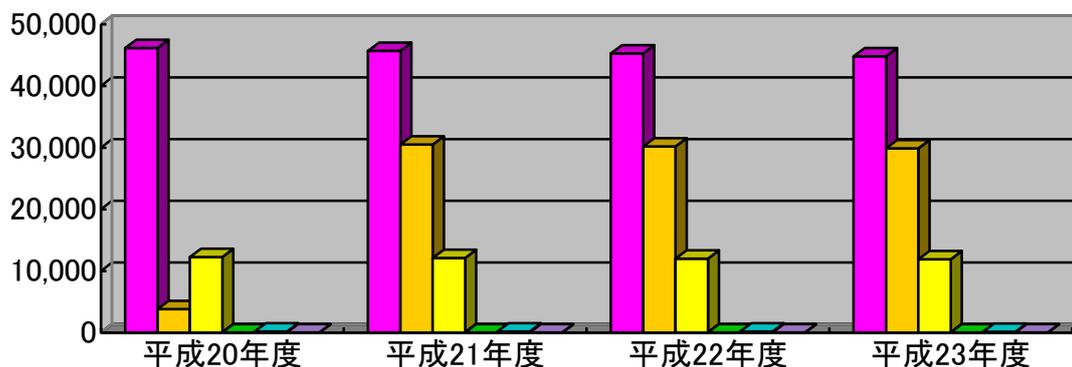
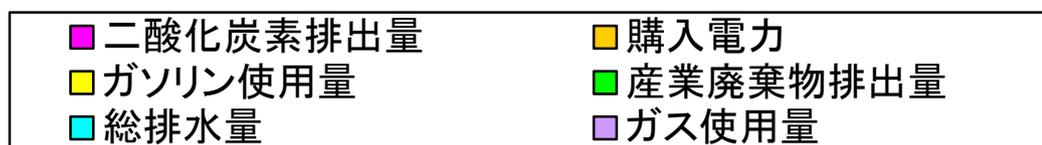
3. 環境目標

《環境目標設定書》

環境目標

NO.	項目	単位	基準年度			
			平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
1	二酸化炭素排出量	Kg-CO2	46,154	45,692	45,235	44,783
2	購入電力	kWh	30,788	30,480	30,175	29,873
3	ガソリン使用量	ℓ	12,232	12,110	11,988	11,869
4	産業廃棄物排出量	m ³	35.5	35.1	34.7	34.3
5	総排水量	m ³	160	158.4	156.8	155.2
6	ガス使用量	m ³	28	27.7	27.4	27.1

※二酸化炭素排出係数 (0.555kgCO2/Kwh)



※弊社は下請工事が殆どである為、電気・水道・工事資材・産業廃棄物は元請管理で、一部は客先支給である。自社施工に伴う産業廃棄物は少量である為、本社分と合わせて一括処分・管理している。自動車燃料使用量は本社と工事現場に分ける事が困難なため全社で一括管理している。以上から工事現場に目標は設定しておりません。

※一般廃棄物は少量であるため、実績把握も行っていないので、環境目標の設定は行っていません。

4. 環境活動計画

環境活動の取組内容

(1) 省エネルギーに取組み、CO2 排出量削減

① 電気の節約

- ・ 昼休み全消灯
- ・ エアコン節約

設定温度・・・夏28℃、冬20℃

デジタル温度計を設置し、室内温度を表示

- (設置箇所・・・事務所内)
- ・ 退社時のパソコン電源OFF



(2) 節水（上水の使用量を削減）

- ・ 散水ホースの先にピストル型ノズルを取付けて節水
洗車はバケツで手洗いを基本
- ・ 手洗い時の水量調整（蛇口止水栓をしぼる）
- ・ 男子小便器の自動水栓設置予定



(3) リサイクルを推進し廃棄物を削減

① 産業廃棄物の削減

- ・ 産業廃棄物の分別の徹底
- ・ 廃棄物置場の表示の明確化
- ・ 空き缶、ペットボトル等専用の空き缶入れに廃棄を徹底
- ・ 金属廃棄物の有償売却
- ・ リサイクル率を向上させる



② 建設現場

- ・ 建設現場のルールに従って対応
- ・ 分別の徹底
- ・ 産業廃棄物総排出量をマニフェストにおいて管理
(工事中に発生する産業廃棄物について)

③ 一般廃棄物の削減

- ・ 分別を徹底し、リサイクル率を向上させる
- ・ 分別基準の表示の明確化
- ・ 社内文書の裏紙利用、両面印刷の推進
- ・ プリンター使い分け（写真印刷は複合機）
- ・ データ電子化、メール活用



(4) エコドライブ推進（ガソリン・軽油消費の節約）

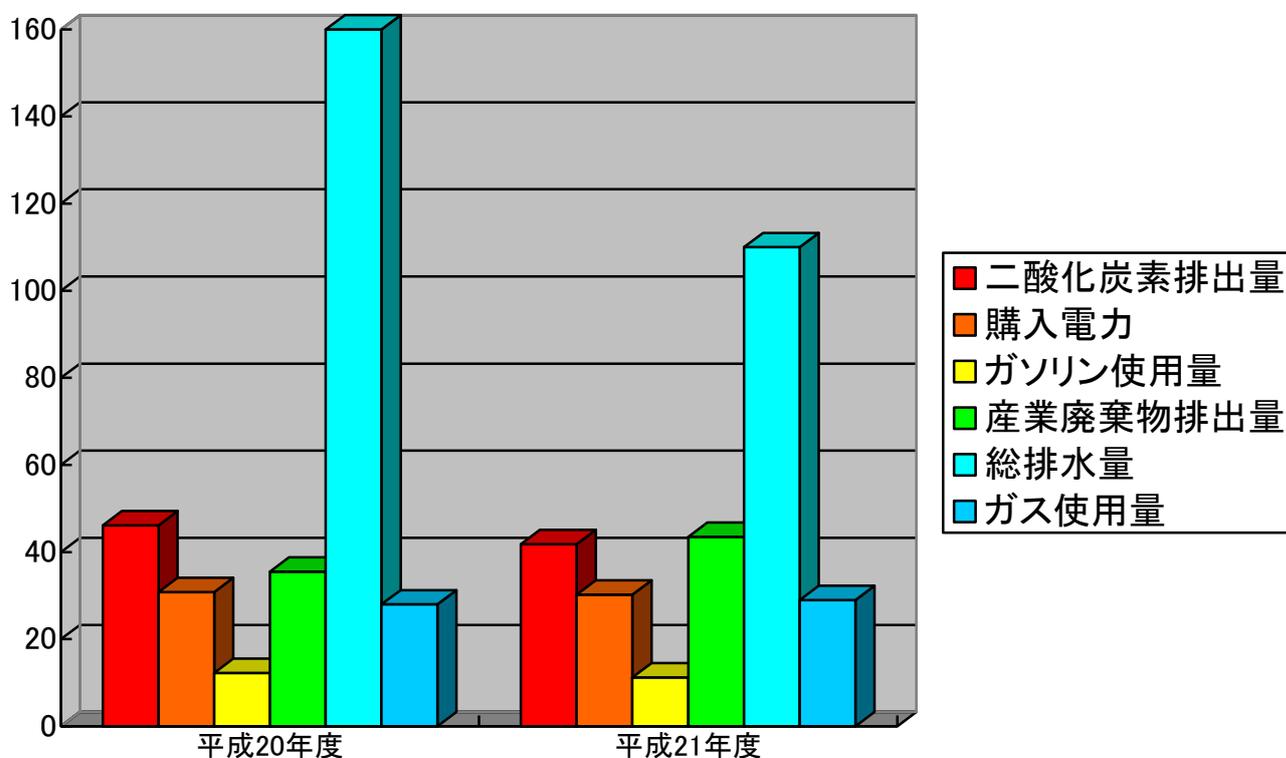
- ・ 急発進、急停車を極力避ける及びアイドリングストップ励行など
車の経済走行（エコドライブ）の習慣化を推進
- ・ 給油記録作成
- ・ 適正なタイヤ空気圧の維持（給油時の測定・補充、空気圧測定器購入）
- ・ 荷物の整理整頓、不要なものは積み込まない（車両の点検）
- ・ 業務内容に見合った車両の購入、低排気量化推進
- ・ 環境基準適合自転車活用

5. 環境目標の実績

＜主な環境負荷等の実績＞

項目	単位	平成20年度	平成21年度	備考
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	46.154	41.841	
購入電力	kWh	30.788	30.215	
ガソリン使用量	ℓ	12.232	11.217	
産業廃棄物排出量	m ³	35.5	43.5	
総排水量	m ³	160	110	
ガス使用量	m ³	28	27	

※二酸化炭素排出係数 (0.555kgCO2/Kwh)



6. 環境活動計画の取組結果とその評価

＜当該年度の環境負荷の実績と評価＞

平成 21 年度（平成 21 年 6 月～平成 22 年 5 月）実施し、環境負荷量及び環境目標の達成状況等の評価を行った。

産業廃棄物排出量については工事請負により増減する。

NO.	項目	単位	基準年度	21 年度（平成 21 年 6 月～平成 22 年 5 月）			
			平成 20 年度	目標	実績	削減率	評価
1	二酸化炭素排出量	Kg-CO2	46,154	45,692	41,841	9%	達成
2	購入電力	kWh	30,788	30,480	30,215	1%	達成
3	ガソリン使用量	ℓ	12,232	12,110	11,217	8%	達成
4	産業廃棄物排出量	m ³	35.5	35.10	43.50		未達成
5	総排水量	m ³	160	158.40	110.00	31%	達成
6	ガス使用量	m ³	28	27.7	27	3%	達成

※二酸化炭素排出係数（0.555kgCO₂/Kwh）

7. 環境関連法規制等の順守状況

(1) 法的義務を受ける主な環境関連法規制は、次のとおりです。

適用される法規制等	適用を受ける内容
廃棄物処理法	廃棄物収集・運搬事業者及び廃棄物処理業者との委託契約 マニフェスト伝票の5年間保管
騒音規正法	特定建設作業開始の7日前までに市長への届出
振動規正法	特定建設作業開始の7日前までに市長への届出
自動車排出 NOx・PM 法	事業活動に伴う自動車排出窒素酸化物等の排出抑制のために 必要な措置を講ずるように努める。
フロン回収破壊法	フロン回収業者への引き渡し義務
自動車リサイクル法	引き取り業者への使用済み自動車の引渡し義務
家電リサイクル法	リサイクルおよびリユースを確実にを行う業者への処理委託義務
消防法	事故発生時は消防署への通報義務
道路運送車両法	事業用自動車の適正な整備、点検義務
下水道法	公共下水道管理者にあらかじめ届出

環境法規制等の順守状況に関する定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

(2) 過去3年間、関係機関等から環境関連法規制について指導、指摘等はありませんでした。また、訴訟等も1件もありませんでした。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

取組計画	達成状況		単位 削減率	評価
	21年度 (平成21年6月～ 平成22年5月)			
二酸化炭素排出量	基準 目標 実績	46,154 45,692 41,841	Kg-CO2	二酸化炭素排出量削減ができた。 社員一人一人の意識も向上してきて いるように思える。
電力使用量	基準 目標 実績	30,788 30,480 30,215		
ガソリン使用量	基準 目標 実績	12,232 12,110 11,217	ℓ	社員一人一人に呼び掛けることで、一 人一人が気をつけることで、ここまで 削減できた。今後もこの調子で削減し ていきたい。
産業廃棄物排出量	基準 目標 実績	35.5 35.10 43.50		
総排水量	基準 目標 実績	160 158 110	m ³	社員全員の意識の向上により節水に 協力。掲示物の効果あり。 今後もこの調子で削減していきたい。
ガス使用量	基準 目標 実績	28 27.7 27		

※弊社は工事請負にてガソリン使用量・産業廃棄物などの増減が大きく、每期ごとに基準値を変えていくことが、難しいので、平成22年度以降の目標値の基準値を平成21年度実績値に変更する。